



祖母の思い出



国	籍	ベトナム
職	種	パン製造
実習実施者		山崎製パン株式会社
監理団体		すずらん協同組合

ダオ ティ ハー
DAO THI HA

私の人生で最も幸運だったことは、祖母の孫に生まれたことです。

私の祖母はとても尊敬できる、優しく強い人でした。祖母は私に決して忘れることのできない美しい思い出を残してくれました。

私は1990年に貧しい田舎で生まれました。父の仕事はお茶を売ることで、母の仕事は幼稚園の先生です。当時、母の給料は13キロの米と1キロの塩だけでした。私が生まれた後、生活は大変だったので、母は商売をするために仕事を辞めなければならませんでした。私が5歳の時、両親は遠方で仕事をしなければならなかったため、祖母のお世話になることになりました。祖母とは5年間暮らすことになりました。その間、祖母はたくさんの事を教えてくれました。人に助けてもらった時は感謝をすること。間違った事をした時は謝罪をすること。年長者に挨拶をすること。年下の子供たちを認めること。困難な状況でも協力し、気遣いを忘れない事を教えてくれました。

そして、毎晩寝る前に物語を話してくれ、歌を教えてくださいました。休みの日はよく祖母について行って野菜を植えたり、市場へ買物に行った

りました。子供のころの私はよく病気になったので面倒を見ることは大変だったと思います。

私は幼いころ、自分の気持ちを表に出さずちょっと頑固なところもあったので、祖母が大好きだったけど、その気持ちを伝えたことはありませんでした。

ある時、私が外出をして帰りが遅くなり、祖母の教えを守らず連絡も入れなかったことがあります。その時初めて祖母に怒鳴られました。私は頑固だったので、祖母に謝りませんでした。後になって分かりましたが、あんなに怒っていたのは私のことを本気で心配していたからでした。

10歳の時、両親と一緒に住むことになったため、祖母に会う頻度は減りました。

祖母を訪れるたびに、物語を話してくれました。祖母が語った物語は子供のころによく聞いたおとぎ話ではなく、祖母の日常話でした。

時間を忘れるほど夢中になって聞いていました。

その後私が大人になってからは、祖母に会いに行く時間が無くなり、時折電話で話すのみとなりました。ある日突然祖母が末期の胃がんを患っていると聞き、とても心が痛みました。すぐに会いに行き、祖母を抱きしめて泣きました。祖母は6か月の治療後に亡くなりました。その時は大泣きし、あまり祖母の介護に時間を割けなかったことを後悔しました。

今、私は後悔のない人生を送れるような毎日を過ごしています。

祖母から教えてもらった沢山のことを守るために。